

令和3年度第1回伊勢原市地域福祉計画点検推進委員会書面会議の結果について

1. 令和3年度第1回伊勢原市地域福祉計画点検推進委員会書面会議の概要について

(1) 書面会議期間 令和3年9月1日（水）から令和3年9月13日（月）まで

(2) 書面会議の実施方法

- ①返信期日を定めて、委員会資料及び各施策外部評価シートを全委員に送付
- ②書面による評価は、外部評価シートにより、一施策ごとに実施。また、各施策に意見のある委員はシートの意見記入欄に記入する。

(3) 協議事項

- ①第4期伊勢原市地域福祉計画の点検・評価について【資料1】
- ②第5期伊勢原市地域福祉計画策定に向けた基礎調査の実施について【資料2】

(4) 主な意見及び回答

【総合評価】 A：目標達成 B：概ね達成 C：未達成 D：その他

基本目標1 助け合い・支え合いを担う人づくり

1-1 福祉意識の高揚（資料3P）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 人権啓発講演会の開催	人権・広聴相談課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 配信形式で実施するのであれば、より多くの人に参加してもらえるように周知して、有効性を高めてください。 ● コロナウイルス感染症が拡大している中、講演会の会場を用意することは難しく、動画配信で実施することはやむを得ないと思います。 ● 動画配信を行うにあたり、動画の内容・表現は十分に検討してから行ってください。	C
施策② 福祉展の開催	福祉総務課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 高齢者や障がい者の社会参加の大切な場の一つとして考えられ、感染防止対策を考慮した形で開催できたらいいと思います。 ● 意欲を持って作成した作品を発表する場がなくなることは残念です。ホームページや冊子・広報などあらゆる方法での発表の場を検討してはいかがでしょうか。	C
施策③ 人権セミナーの開催	社会教育課	【質疑】 ● 動画配信の場合、視聴者の反応はどのように受け止めていますか。 【回答】 ○ 動画配信の視聴者にアンケートを実施しました。「自分の都合のよい時間に視聴できてよかった」「家で視聴したので親子で参加することができてよかった」「繰り返し視聴できたので、よく理解できてよかった」等の回答があり、人権セミナーの開催方法として有効な手段であると考えています。 【質疑】 ● 動画によるセミナーは今後も実施する予定ですか。 【回答】 ○ 動画配信の他にZOOMの活用といった新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮した開催方法を取り入れていきます。 【主な意見】 ● 配信によって参加者数が増えたことは評価できます。 ● 配信で実施することにより視聴者数が増えたことは良かったと思います。今後もセミナーの実施形式の一つとして継続していかれてはいかがでしょうか。	A
施策④ 子ども映画会の開催	社会教育課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 子どもの時から人権について学ぶことは大変重要です。内容や開催方法等を検討して続けてください。	C

1-2 ボランティアの育成・支援（資料4P）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 介護支援ボランティアポイント事業	介護高齢課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● お互いを思いやるという原点を考えたとき、今だから必要なボランティアの在り方もあると思います。	C
施策② ボランティア講座の開設事業	社会福祉協議会	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● この事業はボランティア体験が出来ることに意義があると思います。コロナ禍では難しいと思いますが、継続的に実施できるようにお願いします。	C

1-2 ボランティアの育成・支援 (資料4P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策③ ボランティアセンター運営事業	社会福祉協議会	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 登録団体の実質的な活動がどうなっているのか、実態を把握することも必要ではないでしょうか。 ● コロナ禍でもセンター利用が可能で助かりました。 ● ボランティア団体や当事者団体の情報交換や交流の場として実施している情報交換会について、見直しをしてみてもいいと思います。	B

1-3 福祉教育の充実 (資料5P・6P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 職員研修の開催	職員課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 職員への人権研修はとても重要です。今後も形式にとらわれず実施して人権意識を高めてください。	B
施策② 福祉作文の募集	福祉総務課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 今だからこそ子どもたちが書けた作文があったと思うので、実施されなかった事は残念です。 ● 数値目標がないので、実績が目標を達成しているか判断できません。 ● 福祉の視点を育てるのが目的であるなら、作文の募集のみではなく、他の方策も検討してみてもいいでしょうか。	C
施策③ シニア体験セットの貸出し	福祉総務課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 数値目標がないので、実績が目標を達成しているか判断できません。 ● インスタントシニアだけでなく、車いすを含めてバリアフリーの視点を育てる器具を用意できるように検討してください。	B
施策④ 人権教育研修会等の開催	教育総務課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 教職員に対する人権研修もまたとても重要なことで、常に人権教育の意識の向上を進めるにはどんな形でも定期的に研修を行う必要があると考えます。	C
施策⑤ 人権教育の実施	教育指導課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 教職員に対する人権研修もまたとても重要なことで、常に人権教育の意識の向上を進めるにはどんな形でも定期的に研修を行う必要があると考えます。 ● 書面開催も有意義な方法の一つと思います。 ● 研修が実施できないのであれば、全ての教職員が人権について学べるような資料を用意してください。	C

1-4 地域福祉を支える人材の育成 (資料7P・8P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 地域福祉の担い手の育成 【重点目標】	福祉総務課	【質疑】 ● 受講者の増加は好ましいと思いますが、その人たちがその後、地域活動にどのように関わっていったのか調べることはできませんか。 【回答】 ○ 伊勢原市では、権利擁護に関する専門的な窓口として、「伊勢原市成年後見・権利擁護センター」を社会福祉協議会に委託し開設しておりますが、高齢者を対象とした相談が多いことなど、その必要性が高まっていることから、講演会や出前講座などを実施し、成年後見制度の周知を行うとともに、地域福祉に担い手となる「市民後見人」を養成しております。 市民後見人養成講座修了者については、社会福祉協議会と雇用契約を結び、6ヶ月間法人後見事業及び日常生活自立支援事業の支援員として従事し、実務経験を積んだ後、市民後見人としてバンク登録し、地域福祉の担い手として活動していただいております。 ----- 【主な意見】 ● コロナ禍での開催、大変だったと思います。	A

1-4 地域福祉を支える人材の育成 (資料7P・8P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策② こころサポーター養成事業	障がい福祉課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 自殺を防ぐ為には、悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して孤立、孤独を防ぎ支援することが大切だと思います。 ● 受講者数が昨年度より大幅に増加し、ゲートキーパーの養成につながったことは評価します。 ● 養成したサポーターのレベルアップをはかる研修が必要だと思います。	A
施策③ 介護予防サポーター養成・育成事業	介護高齢課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● コロナウイルス感染症拡大の影響を考えると、講座を中止したことはやむを得ないと思います。	C
施策④ ヘルスメイト養成・育成事業	健康づくり課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● コロナ禍の状況の中、予定通りの開催、大変だったと思います。 ● ヘルスメイトの活動状況を広く周知してください。	A
施策⑤ 健康いせはらサポーター養成・育成事業	健康づくり課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 健康づくりへの関心を持つ人は多いと思います。事業も養成から育成に継続的に実施されていて良いと思います。 ● コロナ禍での事業実施であったため、参加人数の減はやむを得ないと思います。 ● 健康いせはらサポーターの活動状況を広く周知してください。	B
施策⑥ 子育てサポーター養成事業	子育て支援課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 今後、ますます人材育成が求められてくるので、養成のためのよりよい方法、若い世代にアピールする方法等を検討してください。 ● サポーターは、支援を必要とする家庭と関係機関をつなぐ重要な役割を担う存在だと思います。 ● 新規サポーターの養成は必要と考えられ、継続して事業が実施できるようにお願いします。	C

基本目標 2 みんなで助け合い、支え合える地域づくり

2-1 地域の支え合い・助け合い活動の推進（資料9P・10P）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 地域住民の支え合い組織の啓発・支援 【重点目標】	福祉総務課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 啓発活動が具体的な取り組みになるよう、自治会への働きかけを継続してください。 ● コロナウイルス感染症の脅威により、地域のための活動が制限せざるを得ない状況となり、人との関わりが難しくなっていますが、それぞれの地域では、創意工夫により人と人をつなぐ活動を検討し始めています。 ● 大学生との交流が途切れてしまったのは、とても残念で何らかの形で再会ができればと思います。 ● 啓発・働きかけの対象組織として、各地区のミニデイやミニサロンを加えてみてもいいのではないのでしょうか。	C
施策② 市民協働推進事業	市民協働課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 協働した件数も重要であるが、どのような協働事業があったのか、その中身の充実も考えてほしい。 ● 前2年より件数が減ってしまったのは、コロナ禍による活動自粛のためかと思われますが、制度の周知は継続して行ってください。 ● コロナ禍でも頑張っている人達がいるのを知ってほっとしました。	B
施策③ 地域活動支援事業	市民協働課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 自治会加入率をアップさせるには、戦略的、継続的な取り組みが必要だと思います。	B

2-1 地域の支え合い・助け合い活動の推進（資料9P・10P）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策④ 市民活動災害補償制度	市民協働課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 安心して活動ができることは、団体が活動するための大きな要素です。広く周知してください。 ● 制度のおかげでさまざまな団体が安心して活動しています。	A
施策⑤ 社会福祉協議会運営助成事業	福祉総務課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 助成先の事業概要について、把握することに努めてください。	A
施策⑥ 地域包括ケア体制構築事業	介護高齢課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● コロナ禍でも頑張っていると思います。	A
施策⑦ ミニデイ（ミニサロン）事業	社会福祉協議会 介護高齢課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 高齢化が進み、見守り対象者が増えるなど、住み慣れた地域でだれもが安全、安心に暮らせる居場所づくりが必要だと思います。 ● 地域の高齢者の交流の場として、各地で定着してきて今後も広まっていくかと思えます。担い手の養成、活動支援体制等を整えていってください。	B
施策⑧ ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 子育て支援のいい取り組みだと思われ、事業継続のための担い手の確保に向けて対策を講じてください。 ● コロナ禍で新規会員の養成講座ができなかったのはしかたがないことです。	C
施策⑨ 子育てグループ活動支援	子育て支援課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 情報提供を行うだけで十分な支援ができているのでしょうか。 ● 情報提供率100%はすごいと思いますが、「必要に応じた支援」の内容等も実績として分かるように示していただけるといいと思います。	A

2-2 地域での交流する機会や場づくり（資料11P～13P）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 市民活動サポートセンター	市民協働課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 市民活動の場所の提供とともに、団体相互の交流、相談対応など、市民活動サポートセンターの運営を今後も推進してください。	B
施策② 地域集会所（5施設）	市民協働課	【質疑】 ● 地域集会所の利用実態を把握していますか。 【回答】 ○ 指定管理者である自治会から毎月利用報告を受けているため利用状況について把握しています。なお、石田西集会所及び下落合公民館はH31年度から廃止しているため、現在、地域集会所は3施設となっています。 ----- 【主な意見】 特になし	A
施策③ 地域コミュニティ推進事業	市民協働課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● コロナ禍にあって、利用休止があったのはやむを得ないと思います。	B
施策④ 空き店舗等の有効活用	商工観光課	【質疑】 ● 実績があったケースはどのような過程を経て活用まで至ったのでしょうか。 【回答】 ○ 商工会や商店街団体、金融機関等と連携し、補助制度の周知や事業者等からの相談等に適宜対応し、空き店舗等の活用に至りました。 ----- 【主な意見】 ● 潜在的なニーズを掘り起こす必要がある値ではないでしょうか。	B

2-2 地域での交流する機会や場づくり（資料11P～13P）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策⑤ 福祉館（4施設） 福祉総務課	福祉総務課	【質疑】 特になし	C
		【主な意見】 ● コロナ禍にあって、利用休止があったのはやむを得ないと思います。	
	介護高齢課	【質疑】 特になし	C
		【主な意見】 ● 感染症防止対策のもと、少人数の利用等、これを機会に活動内容の見直しを行い、生きがいくくりや社会参加の場として活用されていくといいなと思います。	
	介護高齢課	【質疑】 特になし	A
		【主な意見】 ● 地域の中で、施設が有効に活用されているようなので、今後も継続するようお願いします。 ● コロナ禍の中、利用者数が増加していることは明るい材料です。	
	介護高齢課	【質疑】 ● 会員数が年々減少していくようですが、要因等の分析はされているのでしょうか。	C
		【回答】 ○ 老人クラブの会員数の減少については、全国的な傾向であり、新規会員の加入が進まず、会員の高年齢化が進んでいます。しかしながら、老人クラブは、高齢者の身近なコミュニティで現在市内に42団体が活動し、高齢者の生きがいくくりに寄与しているため、今後も老人クラブの育成事業を継続して支援していきます。	
施策⑧ 老人クラブ育成事業 介護高齢課		【主な意見】 特になし	
	青少年課	【質疑】 特になし	B
		【主な意見】 ● 児童館へのニーズは高いので、コロナ禍にあっても活動可能なプログラムを検討していただきたいと思います。 ● 指導員の方は、感染症防止対策等に苦慮されていると思いますが、児童館は児童の居場所として重要であり、サービスを継続してください。 ● 今後は、利用者数のデータを示してください。	
	社会教育課	【質疑】 特になし	C
		【主な意見】 ● コロナ禍より目標達成とはいきませんでした。WEBの利用等、工夫をされて事業が実施されたことは評価できます。今後も感染症予防対策のもとで講座等を開催する必要があると思われるので、その実施方法について検討してください。	
	社会教育課	【質疑】 特になし	C
		【主な意見】 ● コロナ禍より目標達成とはいきませんでした。WEBの利用等、工夫をされて事業が実施されたことは評価できます。今後も感染症予防対策のもとで講座等を開催する必要があると思われるので、その実施方法について検討してください。 ● コロナの状況を見極めながら実施、大変だったと思います。	

2-3 誰もが住みやすいまちづくりの推進（資料14P・15P）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 公共施設のバリアフリー化の推進 福祉総務課	福祉総務課	【質疑】 特になし	D
		【主な意見】 ● 市役所の中は、車いすの方向転換がしにくいです。多くの市民が訪れる市役所のバリアフリーを考えてください。	
施策② 神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例に基づく啓発・指導 福祉総務課	福祉総務課	【質疑】 特になし	A
		【主な意見】 ● 目標値の設定がされていないので、評価することが困難です。	

2-3 誰もが住みやすいまちづくりの推進（資料14P・15P）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策③ 住宅改修サービス事業	障がい福祉課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 目標値が設定されていませんが、実績の3件は妥当なのでしょうか。制度の周知が対象の障がい者にキチンとされているのかが少し気になりました。 ● 目標に数値の記載がありませんので、実績が目標に達しているのか判断できません。	A
施策③ 住宅改修サービス事業	介護高齢課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 要介護者への助成支援は進んでいると思います。	B
施策④ やまどり号運行事業	社会福祉協議会 障がい福祉課	【質疑】 ● 利用を希望される方全員に対応ができていますでしょうか。 【回答】 ○ 事前予約制であり、希望日時が重なることもあります、時間調整等により希望に添えるよう対応しています。 ----- 【主な意見】 ● 対象の方にとっては有用な事業であるため、継続して実施していただきたい。	A
施策⑤ 公共交通機関との連携	都市政策課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 特になし	C
施策⑥ 公共施設等の改善	道路整備課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 今後、実績内容がわかる資料提供をお願いします。 ● 駅前では乗用車から障がいのある方を安全に乗り降りさせる場所を見つけるのが困難な状況です。	B

2-4 地域の防災・防犯活動の推進（資料16P・17P）	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 防災訓練等の実施	危機管理課	【質疑】 ● 研修会は見送られましたが、自主防災リーダーへの働きかけはできていますか。 【回答】 ○ 自主防災リーダー養成研修会の開催は見送りましたが、各自主防災会において、自主防災リーダーが中心となって訓練会等を実施していただくよう、働きかけを行っています。また、市総合防災訓練を令和4年1月23日(日)に実施いたしますが、総合防災訓練への参加・見学者については、自主防災リーダーを中心に推薦していただくよう各自主防災会へ依頼しております。 ----- 【主な意見】 ● 3年度は、感染対策をしっかりとした上での研修会の実施をお願いします。研修会を継続することにより地域のモチベーションを下げないことが重要だと思います。 ● 共助力向上のため、地域の防災訓練等には住民同士の防災力を高めていくことが必要だと思います。 ● 自然災害の甚大さが増している中、自主防災意識の高揚を図るため、リーダーの育成を継続してください。	C
施策② 災害時要援護者支援制度	福祉総務課 障がい福祉課 介護高齢課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 避難支援等の実効性を高める観点から、避難行動要支援者に対しできる限り複数の避難支援者が協力し避難支援にあたる必要があると思います。 ● 災害弱者への支援という目的を対象者や周りの方によく説明して、登録を働きかけてほしい。 ● 登録率が34％というのは低いのではないのでしょうか。	B
施策③ 自主防災組織と民生委員児童委員への情報提供	福祉総務課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 情報更新が年2回行われています。正しい（最新の）情報提供ができることは重要だと思います。	A

2-4 地域の防災・防犯活動の推進 (資料16P・17P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策④ いせはらくらし安心メール	市民協働課交通防犯 対策担当	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ●メールの配信は積極的に行われていて、情報は伝わりやすいと思います。登録者の増加に努めてほしいと思います。	B
施策⑤ 防犯パトロール	市民協働課交通防犯 対策担当	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 特になし	A
施策⑥ 「あなたを守る家」運動への協力	社会教育課	【質疑】 ●「あなたを守る家」について、どのように広報（周知）していますか。 【回答】 ○「あなたを守る家」は市内の小・中学校PTAの協力で実施しています。「あなたを守る家」として協力いただける事業所、個人の募集についても市内の小・中学校PTAの協力で行っており広報紙やHP等での周知は実施しておりません。 ----- 【主な意見】 ●「あなたを守る家」のプレートは、抑止力になっていると思います。	A

基本目標 3 適切な支援へつなげる仕組みづくり

3-1 福祉等に関する情報提供の 充実 (資料18P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① ホームページでの情報提供	保健福祉部各所属 子ども部各所属	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ●日本語を理解できない外国籍の住民が増加しているので、ぜひ、多言語対応をお願いします。 ●色々な媒体、方法で情報発信をしていて、多くの人に届きやすいと考えます。今後も工夫して継続するようお願いします。 ●WEB検索システムを使用すれば特に問題ないと感じますが、ホームページ画面から情報を探し出すには時間がかかると思います。	A
施策② 市広報紙による情報提供	保健福祉部各所属 子ども部各所属	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ●日本語を理解できない外国籍の住民が増加しているので、ぜひ、多言語対応をお願いします。 ●色々な媒体、方法で情報発信をしていて、多くの人に届きやすいと考えます。今後も工夫して継続するようお願いします。 ●必要な情報がうまくまとめられています。関連するWEBページをつけてほしいと思います。	A
施策③ ツイッターによる情報提供	保健福祉部各所属 子ども部各所属	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ●日本語を理解できない外国籍の住民が増加しているので、ぜひ、多言語対応をお願いします。 ●色々な媒体、方法で情報発信をしていて、多くの人に届きやすいと考えます。今後も工夫して継続するようお願いします。 ●ツイッターには様々な問題点もあると思うので、注意して運用・利用してください。	A
施策④ 保健・福祉サービスメニューガイドの発行	福祉総務課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ●日本語を理解できない外国籍の住民が増加しているので、ぜひ、多言語対応をお願いします。	A
施策⑤ いせはら健康家族カレンダーの配布	健康づくり課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ●日本語を理解できない外国籍の住民が増加しているので、ぜひ、多言語対応をお願いします。 ●ホームページからダウンロードできることは便利だと思います。くらし安心メールでの通知等、いくつかの方法で周知されていることも評価できます。	A

3-2 相談支援体制の充実 (資料19P～22P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 福祉総合相談	福祉総務課	【質疑】 特になし 【主な意見】 福祉総合相談の相談件数が減ったのは、相談者の相談する窓口が増え、選べるようになったからだと思います。	C
施策② 障害者相談支援事業	障がい福祉課	【質疑】 特になし 【主な意見】 - 障がい施設の中で相談事業の重要性が高まってきており、事業所の増設とともに相談員の確保、資質向上の支援を強化してほしいです。 - 相談支援事業所の増設は喜ばしいことです。	A
施策③ 地域包括支援センター高齢者総合相談	介護高齢課	【質疑】 特になし 【主な意見】 窓口での相談だけではなく、電話相談や訪問相談などあらゆる方法で相談事業をしているのは素晴らしいことです。	A
施策④ 高齢者総合相談	介護高齢課	【質疑】 特になし 【主な意見】 - さらに相談対応の力を高めていただきたい。 - 介護高齢課を最初の窓口として行う相談には困難事例が多いと思います。	B
施策⑤ 生活困窮者自立支援事業	生活福祉課	【質疑】 特になし 【主な意見】 - 目標を設定することが難しいとは思いますが、評価するためには指標が必要です。いかに自立につながっているのかデータが欲しいです。 - 就労に対する支援もお願いしたい。 - 目標に数値の記載がありませんので、実績が目標に達しているのか判断できません。	A
施策⑥ 重点健康相談、総合健康相談	健康づくり課	【質疑】 特になし 【主な意見】 コロナ禍で事業を中止、縮小したことは仕方がないことと思います。	C
施策⑦ 子どもの貧困対策推進事業	子育て支援課	【質疑】 特になし 【主な意見】 - ワンストップ相談窓口が機能するようにお願いします。 - 子ども達が傷つき、若者たちの可能性が閉ざされないよう、包括的に受け止め、理解し、解決に向けた支援を行うなど、支えていく仕組みづくりが必要なのではないかと思っています。 「未来応援総合案内」の開設、「取組方針」策定と着実に事業を進めています。次の対策にも積極的に取り組むようお願いします。	A
施策⑧ 子ども相談・支援	子育て支援課	【質疑】 特になし 【主な意見】 - 切れ目のない相談・支援体制をお願いします。 「子育て世代包括支援センター」の開設は評価できます。有効な事業展開を期待します。	A
	子ども家庭相談課	【質疑】 特になし 【主な意見】 要保護児童対策地域協議会の運営や養育支援訪問事業については、とても重要な事業と思われます。実施していく上での目標指標が必要ではないでしょうか。	C
施策⑨ 発達（療育）相談	子ども家庭相談課	【質疑】 特になし 【主な意見】 - 目標達成となっていますが、激増するニーズにどの程度答えられているのでしょうか。 - 早期に発達相談を受けることは重要で、療育や幼稚園、保育所等専門機関との連携を密にし支援を続けてほしい。	A

3-2 相談支援体制の充実 (資料19P～22P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策⑩ 子育て支援センター事業	子育て支援課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 場の提供という目標は達成できていますが、場におけるプログラムの開発やファシリテーターの養成などが今後求められると思います。 ● 「場」の増設は評価できます。目標指標として利用者数等も数値目標として検討してみてもはいかがでしょうか。	A
施策⑪ 子ども・若者相談	青少年課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 潜在的なニーズは一定数あると思われますので、専門性の高い対応ができるよう検討してください	B
施策⑫ 教育相談事業	教育センター	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 多様化する課題を解決するためには、時間を要することが考えられますが、最後まできちんと取り組んでもらえる人員体制を確保できるようにお願いします。 ● 目標指標とはなりませんが、相談内容は重要だと思います。	A

3-3 サービスの質の向上 (資料23P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① 福祉サービス第三者評価制度の周知	福祉総務課	【質疑】 特になし 【主な意見】 特になし	B
施策② 福祉サービス第三者評価	福祉総務課	【質疑】 ● 市内の社会福祉法人のうち、どのくらいの数の法人が第三者評価をしていますか。 【回答】 ○ 市が所管する社会福祉法人１７法人のうち、福祉サービス第三者評価を利用していると確認ができた法人は１法人でした。今後も引き続き、制度周知に努めていきたいと考えております。 【主な意見】 特になし	B
施策③ 介護事業所の外部評価	介護高齢課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 多くの介護事業所が外部評価に取り組んでいると思います。	A
施策④ 研修会・意見交換会等の開催	障がい福祉課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● コロナ禍にあっても、工夫をしながら専門部会を開催し、研修に努めて点は評価します。	B
施策④ 研修会・意見交換会等の開催	介護高齢課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 感染症対策をとった上で、対面での研修会が実施できるように検討してください。	A

3-4 関係機関等との連携強化による支援体制づくり (資料24P・25P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策① ふれあい収集事業	環境美化センター 障がい福祉課 介護高齢課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 目標値の設定がされていないので、評価することが困難です。 ● 高齢者、障がい者の生活支援事業として実用的な取り組みだと思います。これからニーズが増加すると思われますが、継続して対応できるようにお願いします。 ● 高齢者や障がい者の身体的な負担を減らし、声かけ、安否確認を行うなど日頃の見守り活動に役立っていると思います。	A

3-4 関係機関等との連携強化による支援体制づくり (資料24P・25P)	所管所属・機関	質疑・回答及び主な意見	総合評価
施策② 小型家電の回収モデル事業	環境美化センター 障がい福祉課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 目標値の設定がされていないので、評価することが困難です。 ● 回収件数が年々増加しており、利用者の社会参加につながっていると思います。	A
施策③ 地域見守り体制の充実	福祉総務課	【質疑】 ● さまざまな事業者との協定締結が広がり心強いと思いますが、異変時の対応や関係機関等との連携はきちんとできているのでしょうか。 【回答】 ○ 「地域見守り活動に関する協定」では、締結事業者等が通常業務を遂行する中で、新聞や郵便物がたまっているなど日常生活において異常が感じられ、住人の生命の危険が予見された場合、市所管課（福祉総務課）に状況を連絡することとなっています。また、緊急での対応が必要な場合は、直接警察署や消防署に状況を報告することとし、併せてその状況を市所管課（福祉総務課）に連絡していただいているなど、協定に基づき連携しております。 ----- 【主な意見】 ● 地域見守り体制のおかげで2人の命が助かりました。	A
施策④ 事業所開設に向けた相談・助言	障がい福祉課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 毎年、事業所開設数が目標に達し、新たな事業所が増えつつあるので、行政として各施設に対する適切な指導は継続的にお願いします。	A
施策⑤ 地域密着型サービス施設の整備	介護高齢課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 「予定なし」に対する評価を考えればいいのでしょうか。第8期計画での施設整備3カ所に向けて、積極的な取り組みをお願いいたします。	C
施策⑥ 高齢者支援事業	介護高齢課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 利用者が一定の層に限られていると感じています。事業の必要性は分かるので、利用条件の定期的な見直しが必要だと思います。 ● 今後も事業を続けてください。この事業で助かっている高齢者も多いです。	B
施策⑦ 育児支援家庭訪問事業	子ども家庭相談課 子育て支援課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● ニーズは高いと思われます。コロナ禍等、厳しい状況ですが今後も継続してください。 ● コロナ禍により利用を敬遠される家庭が多かったようですが、対象家庭において問題がなかったか心配です。	C

3-5 権利擁護の推進 (資料26P・27P)	所管所属・機関	質疑及び主な意見	総合評価
施策① 成年後見・権利擁護推進センターの利用促進 【重点目標】	福祉総務課	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● センターの利用促進に向けて、一般市民、関係機関等、幅広く周知できるよう働きかけを継続してください。	A
	社会福祉協議会	【質疑】 特になし ----- 【主な意見】 ● 今後ますますニーズが高まると考えられますので、さらなる普及啓発に取り組んでください。 ● 講演会や研修会等で制度の普及啓発は大切なことですが、成年後見制度について広く一般に周知することが必要だと思います。	B

3-5 権利擁護の推進 (資料26P・27P)	所管所属・機関	質疑及び主な意見	総合評価
施策② 市民後見人の育成と活動支援 【重点目標】	福祉総務課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 今後、ますます市民後見のニーズが高まると考えられますので、啓発に取り組んでください。 ● 今後、ますます重要な事業なので、長い目で見て、着実な推進をお願いします。	B
	社会福祉協議会	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 今後、ますます市民後見のニーズが高まると考えられますので、啓発に取り組んでください。 ● 市民後見人の育成が着実に進められ、受任者も目標を達しています。引き続き育成、支援に取り組んでください。 ● 今後、ますます重要な事業なので、長い目で見て、着実な推進をお願いします。 ● 市民後見人を増やす工夫が必要だと思います。	B
施策③ 虐待防止事業	障がい福祉課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 虐待は人間の尊厳を脅かす行為で、社会全体が「見逃さない」意識を持つことが求められていると感じます。 ● 障がい者、高齢者、子どもへの虐待は、家庭内で行われていることが多い。早期発見と対応のために地域や関係機関の人びとに「気づき」の意識を養っていく啓発事業を強化し ● コロナウイルスにより行動制限などでストレスが弱者に向くようなことがないように、今だから必要な情報や研修もあるように思います。さらにぜひ頑張ってください。	B
施策③ 虐待防止事業	介護高齢課	【質疑】 特になし 【主な意見】 ● 高齢者虐待は表面化しにくく、虐待の加害者・被害者ともに虐待と自覚していないケースが少なくないと思います。人間関係、家族関係、社会環境などいくつかの要因が複雑に ● 障がい者、高齢者、子どもへの虐待は、家庭内で行われていることが多い。早期発見と対応のために地域や関係機関の人びとに「気づき」の意識を養っていく啓発事業を強化し ● コロナウイルスにより行動制限などでストレスが弱者に向くようなことがないように、今だから必要な情報や研修もあるように思います。さらにぜひ頑張ってください。	C
	子ども家庭相談課	【質疑】 ● 研修会はどのような方を対象に行われているのですか。 【回答】 ○ 高校出前講座は、市内公立高校の生徒を対象に「高校生カップルの予期せぬ妊娠」をテーマに問題を自分たちだけで抱え込まず、周囲に相談することの大切さについて寸劇を通じえながら伝えるようにしており、在校中に必ず受講できるようなサイクルでの実施に努めています。また、性被害が疑われる児童との面談技術習得を目的としたR I F C R研修は、市要保護児童対策地域協議会構成機関の職員や市内在勤の児童福祉関係者を対象に実施しています。このほか、教育保育施設及び小中学校向けの巡回型研修（オレンジコール）、小中学校の新採用教職員向け研修、民生委員・主任児童委員向け研修、ファミリーサポート会員向け研修などを随時、実施しています。 【主な意見】 ● 虐待については、社会的認知が高まっているので、さらなる啓発に努めてください。 ● オレンジリボンとは、子どもの虐待のない社会を目指すシンボルマークです。孤立し不安を抱いた親への支援、行政の専門的支援、また、地域によるきめ細かい声かけや見守りが ● コロナウイルスにより行動制限などでストレスが弱者に向くようなことがないように、今だから必要な情報や研修もあるように思います。さらにぜひ頑張ってください。	C